



北陸地方整備局
湯沢砂防事務所

記者発表資料

資料
取扱

資料の配布をもって解禁
令和2年1月8日

「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」 を実施します！

近年全国各地において、平成29年7月の九州北部豪雨、平成30年7月の西日本豪雨、昨年10月の台風19号など、大規模な土砂災害が多発しています。

湯沢砂防事務所管内においても、平成16年中越地震では、芋川流域で河道閉塞が多発するなどの大規模土砂災害が発生し、対応に迫られました。

このような大規模土砂災害の発生をふまえ、さらなる地域の安全・安心の向上を目指し、湯沢砂防事務所は、新潟県・湯沢町と協同し、合同防災訓練を実施します。

日時：令和2年1月15日(水) 13:30～17:00
ゆざわまち

場所：湯沢町公民館 2階 大ホール

(新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2822番地)

参加団体：湯沢町、新潟県土木部砂防課、南魚沼地域振興局

国土交通省北陸地方整備局、湯沢砂防事務所

湯沢砂防スペシャルエンジニア(順不同)

参加者数：約30名

訓練概要：訓練は「学習型」で行います。詳細は別紙のとおり

<その他・注意事項>

◇訓練は公開で行います。

◇当日取材をされる方は、下記問い合わせ先までご連絡をください。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 湯沢砂防事務所 副所長(技)

調査課長

はせがわ まさひで

長谷川 真英(内204)

あさの やすお

浅野 保夫(内351)

[電話] 025-784-2263(代)

[FAX] 025-784-1729(代)

- ①日程概要 13:00～13:30 集合・受付
13:30～13:45 開会・挨拶・訓練の進め方の確認
13:45～16:30 学習型訓練(休憩時間含む)
16:30～17:00 意見交換・講評・閉会

②訓練内容

(1)被災想定:梅雨前線に伴う豪雨(平成23年新潟福島豪雨と同じ降雨規模)により、湯沢町の各地域で同時多発的に土砂災害(土石流、河道閉塞)が発生することを想定。

(2)訓練形式:学習型

司会進行者が災害シナリオに沿って質問を投げかけ、訓練参加者に回答を求める質疑応答型の訓練。司会進行者の状況説明(シナリオ進行)を聞くことによって、参加者全員が災害対応行動等の流れを共有・理解できるのが特徴です。(下記参照)

進 行 者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部あるいは支部と見立て、それぞれに質問する。
回答者は特定せず、1名が組織を代表して、その組織の行動を回答する。

××という機関から、「〇〇地区で大規模な崩壊が発生し、△△の状態となっている」との報告が入りました。
この情報を受けて、あなた方の組織では、どのような行動をとりますか？



質問

回答

訓 練 参 加 者

質問内容に応じて、参加組織の中で回答者を決めて発表する。
回答者は与えられた設問に対して、自身の所属組織の対応内容を回答する。

私たちの組織では、〇〇を第一に考え、□□を行います。
併せて、この情報を△△という機関に連絡します。



平成29年度大規模土砂災害を想定した合同防災訓練(南魚沼市)実施状況



湯沢砂防管内では、今回で3回目の訓練となります。(H29年度 南魚沼市、平成26年度 栄村)